

むらやま ぎあしだより

発行：村山市議会
編集：議会だより編集委員会

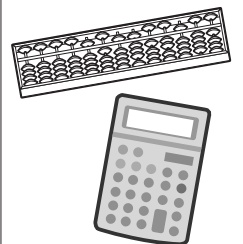
写真8 村山市立富本小学校
たのしい運動会

9月定例会
平成23年度
歳入・歳出決算を認定
一般質問
議会活動、
市民の声
一部事務組合報告



一般会計と特別会計

23年度決算を認定



平

成24年第4回定例会は9月3日に招集され、21日まで19日間の会期で開催されました。一般会計は前年比で市税で5千791万円、繰入金で2億4千621万円等自主財源の増加、依存財源では市債2億1千200万円、地方交付税4千330万円増等で歳入は122億3千761万円となり、歳出は前年比で総務費、民生費、教育費、公債費の減少で114億8千136万円となり7億5千625万円の黒字決算となりました。

また8特別会計では歳入66億1千246万円、歳出は64億7千479万円となり1億3千767万円の黒字決算となり、総計で8億9千392万円の黒字決算となりました。

一般会計並びに水道事業会計及び特別会計決算については特別委員会に付託し、いずれも原案のとおり認定されました。

23年度に
実現した
事業です



東沢公園の北口展望台など整備しました

収入未済額の解消を

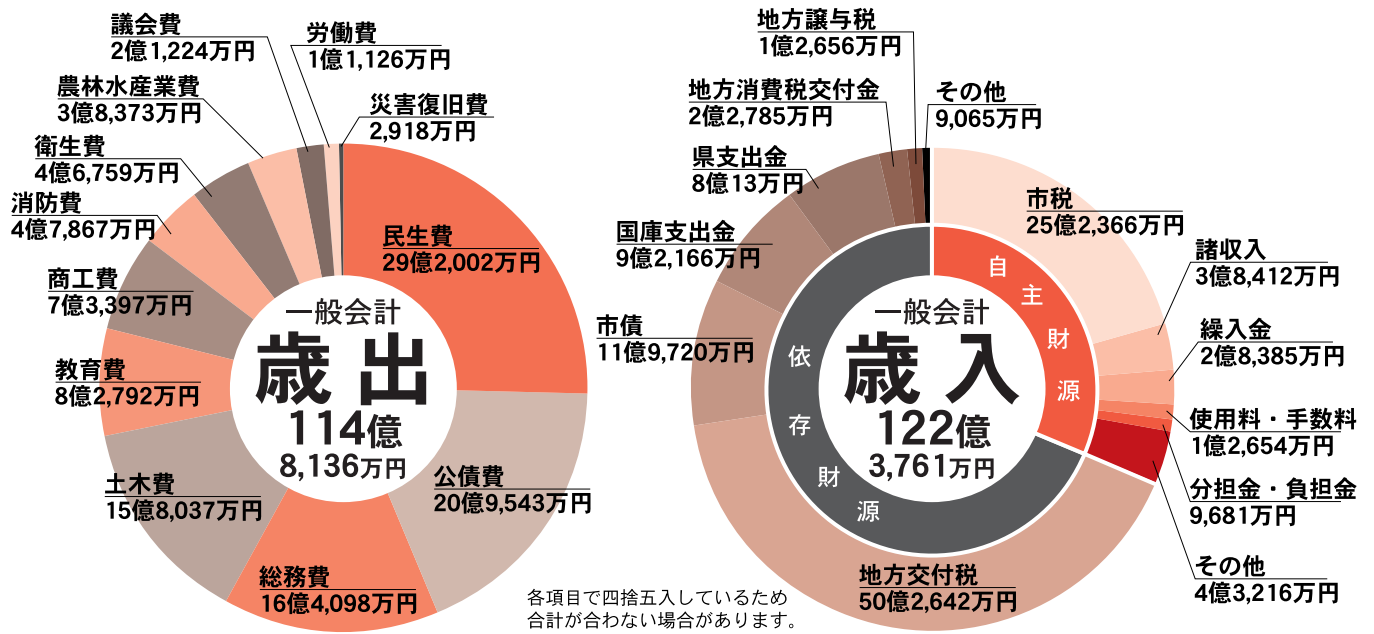
一般会計は7億5千625万6千円の、特別会計は1億3千767万3千円のそれぞれ黒字決算になりました。平成23年度の財政運営は、地方公共団体の財政健全化比率が、実質公債費比率17・8%（前年度18・8%）、将来負担比率が155・1%（前年度158・1%）と起債に県の許可を要しない公債費比率まで改善されました。今後とも健全な財政運営に努められるように求めるものです。



茨木久彌
決算特別委員会 委員長

平成23年度は3月11日に発生した東日本大震災の対応からはじまり、1月上旬からの豪雪対策まで正に激動の年であったと思います。そんな中、旧雇用促進住宅の購入とエレベーターの設置や、楯岡中学校の跡地整備。災害対策の整備事業など、様々な事業を行い評価するものです。一方で国保会計の未収額が2億372万2千円と前年度比1千523万円増加しており、納税の向上に向け一層の努力が必要とされております。今後、収入未済額の解消に努め、より一層の市民サービス向上と市財政充実のための努力に期待します。

23年度一般会計 7億5625万円の黒字決算



移動図書館「はやま号」を更新



新しい学童施設は快適（戸沢）

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	12,237,619,577 円	11,481,363,568 円	756,256,009 円
国民健康保険事業特別会計	2,908,315,965 円	2,793,646,629 円	114,669,336 円
公共下水道事業特別会計	1,190,182,497 円	1,185,152,439 円	5,030,058 円
財産区特別会計	1,856,517 円	1,277,507 円	579,010 円
農業集落排水事業特別会計	67,048,432 円	66,019,980 円	1,028,452 円
土地区画整理事業特別会計	20,539,222 円	20,438,440 円	100,782 円
介護保険事業特別会計	2,143,610,664 円	2,128,833,175 円	14,777,489 円
後期高齢者医療事業特別会計	280,913,970 円	279,426,525 円	1,487,445 円
合計	18,850,086,844 円	17,956,158,263 円	893,928,581 円

各会計の決算状況

生かせ議員の指摘

総務

- ・市債残高の減少は評価できるが、自主財源比率及び収納率の減少、不納欠損が増加しており対策が必要である。
- ・職員研修については、スキルアップをするために、外部の研修にも配慮してほしい。
- ・総合行政システムにかかる費用対効果について市民に周知することも考慮すること。
- ・その他豪雪対策として高齢者世帯への除雪扶助費が拡大され、子宮頸がん等フクチン接種緊急促進事業や子育て支援医療費を小学3年まで無料化するなど、総合的に福祉・保健分野の充実が評価できる。

文教厚生

- ・保健事業の充実が評価できるが、今後市民に対し二次検診や予防接種の情報提供を十分にを行い、受診者増加に配慮すること。
- ・保育園と児童センターは、現在臨時職員数の割合が多い状況にある。子供の数が減少する中で集中改革プランには民間委託等の検討を要する施設として保育園も載っている。今後の保育園と児童センターの方向性について示すべきである。
- ・消防署の備蓄食料は公費で準備をすべき。又救急患者受け入れについて、搬送先がなかなか決まらない問題が起きています。今後保健課との連携を密にし、現状の回復をすること。

産業建設

- ・新築される戸沢地区公民館に設置予定の図書室については、今後十分協議すること。
- ・農畜産物「食の安全を守る」緊急支援事業について、放射能による風評被害が懸念されるが、市民が安心するよう、調査結果を早急に公表すること。
- ・芸術文化事業への支援など文化行政に力を入れるべきである。
- ・東沢公園は経営的に見れば赤字である。人件費を含めた維持管理に関する全体的な収支について、経営改善計画などが必要なのではないか。
- ・23年度は約3億円の除雪費がかかっている。今後恒常的に予算化していくのは難しい。軽減の対策が必要。県有地雪捨て場にメガソーラーが設置されるので代替地の確保を早急に行うこと。

県が権限を持つている産廃の許認可及び産廃税の配分に対して、市への配慮をするよう県に対して働きかけをするよう要望する。



就航直前のドクターヘリとスタッフ達

補正予算追加

1億4651万円

子育て環境整備など

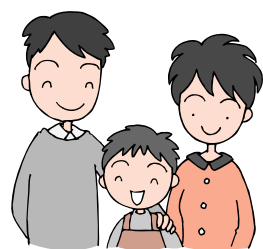
24年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ1億4千651万8千円を追加し、総額を1億5千8万円とするものです。

主な補正は、富本・富並小学校に学童保育施設を設置するための改修工事費用100万円。戸沢保育園内の支援センターの改修工事費用73万円など、子育て支援環境整備に充てる内容で、20%プレミアムで好評の「とくとく徳内券」への発行事業補助金474万円などです。

「とくとく徳内券」は当初予算と合わせて総額3千600万円分の商品券を発行する予定で、市内の商業の活性化が期待されるものです。

その他、市道の消雪ノズル撤去やポンプ修理などの除雪費2千161万円や自治公民館整備事業費助成金419万円。袖崎の洗心児童館の解体費用などの430万6千円などです。

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



大倉小学校統合へ 大久保小学校は2年間 戸沢小学校へ一時移転



H 25 年 3 月で閉校となる大倉小学校

条例等

○村山市立学校設置条例の一部を改正する条例
大倉小学校が平成25年度から榑岡小学校へ統合されること。又、大久保

小学校の改築による一時移転を戸沢小学校へとするために、関係規定の整理をするものです。

○村山市防災会議条例等の一部を改正する条例
災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会議の組織及び事務に関する規定の見直しなどを行うものです。

○村山市火災予防条例の一部を改正する条例
省令の一部改正に伴い、電気自動車用の急速充電機を追加し、設置等の基準を定めるものです。

○県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
住民基本台帳法の改正により外国人登録原票を削除するものです。

○財産の処分
旧榑岡中学校跡地を宅地分譲地として処分

いずれも全会一致で可決されました。

請願

○地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願
願

○村山特別支援学校榑岡校に至る安全な通学路を求める請願

いずれも全会一致で採択

○消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願
賛成少数で不採択

発議

採択された請願2件に対する意見書がそれぞれ国、県の関係機関へと提出されます。

いずれも全会一致で可決されました。

人事案件



監査委員 (新任)
佐藤 和男
村山市河島山



教育委員 (新任)
大類 誠一
村山市榑岡大沢川



教育委員 (新任)
井田 慶子
村山市榑岡新町

24年第3回臨時会

7月20日に第3回臨時会が招集され、補正

予算など議案3件が審議されました。主な内容は、
○クアハウス基点大浴場
新築主体工事の請負契約の締結について。

○ロータリー除雪車の財

産取得について

クアハウス基点の工事請負は金額2億4千727万5千円で契約を結ぶものです。ロータリー除雪車は1台で2千370万8千円です。

補正予算は2億5千692

万3千円を追加するもので、葉山中への太陽光パネル設置など再生可能エネルギー整備事業や、給食の放射線検査委託料、雪害による公共土木施設災害復旧事業などで、全会一致で可決されました。

ここが聞きたい！ 一般質問

Q&A

本定例会の一般質問は
9月5日・6日に7人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



支援学校通学路
県の合意得られず
長南 誠 議員

Q 全国で多発している「いじめ」県内では減少傾向にあるが、どの子にも起こり得ること。村山市の現状と対応は。教育委員会として学校への指導対策はどうか伺う。

A 村山市の「いじめ」は23年度小学校9件、中学校2件発生、24年度は2件その内1件は継続指導中。保護者・地域の支援・学校現場の努力で鎮静化してる。日常的な取り組みは①職員会議等でいじめ問題で共通認識を持つ。②学級活動時間等で取り上げ指導を行う。③児童生徒会活動を通じていじめを考えさせ、人間関係仲間づくりを促進する。④いじめ問題に対応するため校内組織の整備等の充実に取り組む。教育委員会では未然防止・早期発見・適切な対応について話し指導している。



特別支援学校の迂回路

Q 特別支援学校楯岡校の児童生徒が増加、今後も増える見込み。朝夕の送迎車、地域住民の車、農耕車の通行が多く危険である。市道拡幅など市の対応を伺う。

A 県に3案を示し話し合ってきたが合意を得られない状況である。市としても通学者、地元住民の安全を考え、県に急いでほしいと要望している。環境整備として、放課後デイサービス。就労継続支援事業等市としてやれることを、社協と連携して進めている。



待ち望まれる新産業高校 までの新設道路

井澤秋雄 議員

Q 一部が鶴ヶ町西線として市道認定されており、新産業高校（現在の村山農業高校）まで約26kmについて、村山市として北村山地域開発の重要事業として要望している重要な路線である。

A 市長の考えを聞きたい。

Q 市の重要事業として要望している路線であり生徒の安全、周辺住民の安全を考え、健全財政を維持しながら進めていきたい。今年度、概略設計を進めており、今後実地設計を調整しながら考えていきたい。

Q 新産業高校の通学路に関連し、県道の鶴ヶ町交差点から北町の区間について、歩道整備を行い、冬期間も除雪する考えのようであるが、地元でも除雪が心配である。市としての対応は。

A 県が主体であるが地元の理解を得たという認識で進めている。除雪についても一定の積雪を超えたときは、搬雪の頻度を高めての対応を考えているようである。

Q 学校図書館は教育に欠くことのできない

A 県が主体であるが地元との連携が重要である。学校の図書配置と本の数は国の標準から見てどうか。

A 学校司書は、臨時職員も含めると国の基準を概ね満たしている。



未整備の鶴ヶ町西線（前方）



「じゅんさい」生産の 安定化について

佐藤敏彦 議員

Q 村山市の財政について。①3%、5%消費増進導入時、本市財政への影響はどうかであったか。②今後8%、10%になるが、予算の対応をどう考えているか。

A ①市税収入は、消費増進導入による駆け込み需要と、その反動による落ち込みはあったが、市民税収入には大きな影響はなかった。地方交付税、新たに消費税交付金が増えた。各種事業への影響はなかった。②消費税交付金が、8%では1億5千900万円、10%では2億7千200万円の増を試算している。地方交付税は、8%では1億2千200万円、10%では4億4千700万円の増となる見み込だ。歳出は、物件費、維持補修費、投資的経費が8%では7千600万円、10%では1億2千800万円増えると試算している。

Q じゅんさいの生産が激減しているが、その原因と対策は。

A 生産量は、昭和40年代のピーク時は約20tあった。近年が約10t前後で推移しているが、本年度は約3.5tである。原因は、酸欠による根腐

れのような。このままだと枯渇する恐れがあるので、採取組合と土地改良区で相談しながら、その改善策を研究中であり、今後も市では支援していく。組合員の高齢化対策については、見守りたい。



生産量が激減している大谷池沼の「ジュンサイ」



海老名幸司 議員

防災・消防施設の整備について

Q 阪神、淡路大震災以降、防災は行政の大きな課題となっており、自主防災組織の育成、充実強化が重要と思われる。ところが自主防災組織の設備、装備内容もまちまちで地域の財政事情等によって異なっている。それではまずいので防災組織として最低限必要な装備等は市の責任（市費の投入）で対応していくべきと考えるがどうか。

A 実態調査等を行い前向きに検討、対応していきたいと思っております。

Q 雇用創造先導的創業等奨励金事業としての「まんぶく市場」については、従来の市の行政の枠からはみ出た特異な補助金が運営支援として過去2回にわたって計1千334万円支出されている。この点については議会の中でも異論があり、そこで特別に全員協議会を開



市の防災試練

催し、その中で市長が「経営上の責任は経営者、行政上の責任は私がとる」という発言をうけて予算案が議会を通過した経緯がある。そこで現在の経営状況等についておたずねしたい。

A 経営状況として会社をまかなう状況にない。ただ金銭的支援はこれで終わり、余暇開発公社の人的支援も本年度までとする。今後は自立に向けた指導を強めていきたいと考えている。



川田律子 議員

学童保育料の助成を

Q 高額な医療費の要因と言われる心血管疾患を減らすには、検査項目の拡充と健診の結果から将来の病気のリスクや原因を知ることで早めの対策が立てられ、年々高くなる医療費の抑制にもなると思うが、次の2点について問う。①急増する腎臓の病気を予防するため、クレアチニン検査を特定健診に導入する考えは。②40才の人間ドックの無料健診と合せて脳ドックを導入する考えは（対象者40名位）。

A ①クレアチニン検査は、現在特定健診に入っていないが、腎機能疾患が増えていることから厚労省の中間報告にも項目に追加することが望ましいとあり、前向きに検討したい。②脳ドックについては個別に対応してほしい。

Q 山形県は、低所得世帯への利用料支援事業として、学童保育料の1/2、上限5千円を県が1/2市町村が1/2で、実施主体は市町村とし、対象世帯は要保護、または準要保護世帯とあるが、村山市はこの度なぜ申請しなかったのか。また対象

となる世帯数は、**A** 県への対応が遅くなつたが早急に申請する。12月補正で4月までさかのぼってやる予定。対象となる世帯は82名で19名が学童保育を利用している。



戸沢学童保育「さんさんキッズクラブ」



納税緩和や減免措置の適用強化を

中里 芳之 議員

Q ①近年の市民税滞納者の増加は、不況だけでなく、低所得者への課税強化も大きな原因ではないか。②消費税増税で滞納者の増加が予想されるが、どう対応するのか。「公平性」や「財源確保」の観点だけでよいのか。③税法上の納税緩和措置や減免制度が機能していない。要綱を定め適用強化を。④市税の完納要件のある行政サービスには、見直すべきものもあるのではないか。分納している市民をどう扱うのかという問題もある。完納要件の弾力的運用のための方針策定を。⑤滞納者の実態がわかるような資料提供を。

A ①不況が原因だ。②分納を含め、生活にあつた納税指導や相談活動に力を入れていく。③公平・公正、市民生活の安定を考えながら対応する。④公平性や納税意識も重要。現段階で問題があるとは思っていない。⑤今の「税務概要」で十分だ。

Q ①道の駅における施設内レイアウトの変更は、設置の目的に反するのでは。②立場の弱い催事業者をないがしろにするやり方でレイアウト変更が行われたが、これは公共の施設で許されることではないし、「地域経済の活性化」という設置目的にも反するのでは。

A ①問題はない。②公社の判断であり行政が口をはさむ気はない。



有害鳥獣対策専門員の直接雇用を

鈴木 健治 議員

Q 大倉小学校跡地の利活用について、次の要望がされているが市長のご所見を伺いたい。①スポーツ施設（人工芝のサッカー場）の整備。②このサッカー場を災害時のドクターヘリの中継離発着場としての整備。

A ①スポーツ施設（人工芝のサッカー場）の整備。②このサッカー場を災害時のドクターヘリの中継離発着場としての整備。免許を持った有害鳥獣対策専門員の雇用について市長に伺いたい。サル接近警報システムは、正常に作動しているが、花火による追い払いは若干効果が薄れていると思つている。今回、りんご・ラフラン

スの被害防止対策として、超音波発信システムを新たに3か所に設置する予定である。また、有害鳥獣対策専門の直接雇用は、猟友会や被害防止対策協議会で体制を整えた上で直接雇用も検討していく。

る。④公平性や納税意識も重要。現段階で問題があるとは思っていない。⑤今の「税務概要」で十分だ。



道の駅むらやま 現在の情報コーナー

Q ①問題はない。②公社の判断であり行政が口をはさむ気はない。



サル接近警戒システム

読んでもらえる 紙面づくりを!!

— 議会だより編集委員会視察研修 —



7月20日産業建設常任委員と市商工労政係・企業誘致対策室職員が管内企業訪問、(株)コヤマ、(株)スズキ、(株)三興製作所山形工場を視察した。

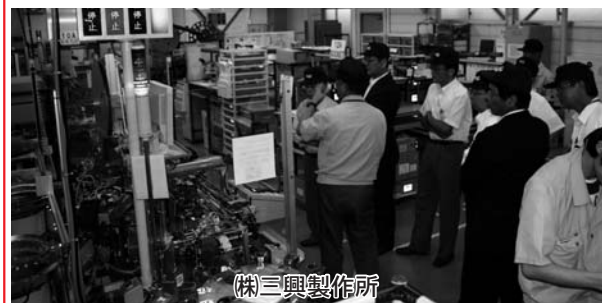
ものづくり企業視察 — 産業建設常任委員会 —

自動車粘着テープの製造、チタン等難削材を使った製品の製造販売、洗車機、立体駐車場、介護車等に使用する歯車の製造している3社であつ

た。また①社員各自の労働目標の積極的な取り組み。②機械の故障は社員が修理。③リーマンショック後の独自の発想と、堅実な経営で確かな

収益を得る。これらの課題を社員に徹底し過酷な課題を乗り越えてきた。村山市には素晴らしい技術を持った「ものづくり企業」が約170社もあり、

今後も議会で応援していきたい。



美郷町の議会だより

8月1日～2日の両日、議会だより編集委員会は、秋田県美郷町の「みさと



「みさと議会だより」の編集等について研修を行った。

09年度、11年度に町村議会全国コンクールで優秀賞を受賞している。当日編集等について委員長より掲載内容、委員の役割分担、作業日程、レイアウトについて説明を受け、その後双方の委員の意見交換を行った。「みさと議会だより」は手にとつて読んでもらえる紙面づくり。週刊誌のようなインパクトある見出しを心掛けており、参加した議員全員が感動した。むらやま議会だよりに今後生かしていきたい。

林業活性化議員連盟



林業活性化議員連盟は9月25日南陽市にて視察研修を行いました。

- ①助成金を上手に利用しているNPO法人「美しい山形森林活動支援センター」の活動状況。
- ②南陽産の杉材を8割以上使用して昨年完成した「吉野森林交流センター」の施設見学。
- ③山形県森林整備課の担当者による、ナラ枯れ等の山の荒廃の現状とその対策や今後の森林整備の取り組みについての講話。
- ④新たな植林と、さまざまな形態の森づくりの計画が進められている「吉野石膏の森」の現地視察。

新市政クラブ

会派、新市政クラブは去る7月9日から11日までの3日間、北海道函館市、八雲町、北斗市の行政視察を行った。

函館市については「NPOはこだてグループ」による旧店舗を活動の拠点とした交流や情報発信などの街づくり活動。

八雲町は移住推進事業に理解ある町民から土地3万2千㎡の寄付を受け全国の町村病院では最高規模の病院を作り移住推進の実績を挙げている。

北斗市は、平成27年度の新幹線開業を間近に控え、当面その終着駅となることから新駅周辺の整備に取り組んでいる。



震災ガレキ受け入れ！

— クリーンピア共立 —



可燃物処理現場で説明を受ける

8月20日共立衛生処理組合議会・執行部合同研修が宮城県多賀城市で行われた。これは多賀城市より東日本大震災による災害廃棄物のうち、可燃物の焼却処分の要請があり、その受け入れについて研修視察を行うものである。視察に先、だち庁舎内で東日本大震災の被害状況と震災復興計画の説明を受けた。その後、混合可燃ごみ仮置き場、中間処理施設、及び市内の復興状況の現地視察を



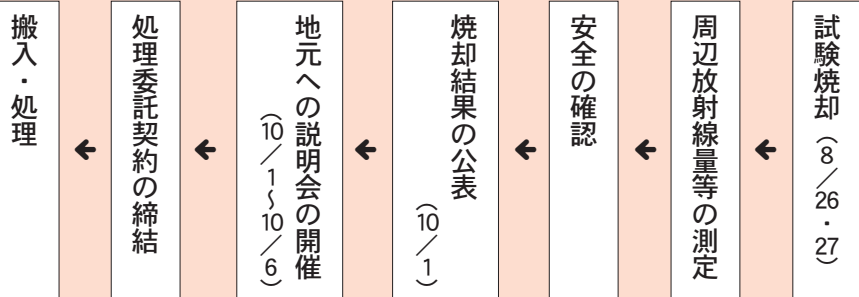
搬入される梱包された可燃物

行った。大手建設会社による中間処理施設は、140名の従業員を雇用し、津波堆積物に改良剤を添加して分別しやすく改質し、振動スクリーンと手選別で金属類・コンクリートガラ・可燃物・土砂等に分別する。推定処理量は14万トンで当組合は可燃物1千400トンも受け入れる予定だが、試験焼却を行い安全が確認され、議会や住民への説明を行い、承認が得られた後、受け入れ焼却の予定である。

試験焼却終了！

8月に行われた震災ガレキの焼却の結果は、10月1日に発行されたクリーンピア共立の広報に記載されていますのでご覧ください。

「処理の流れ」



共立衛生 処理組合

共立衛生組合議会は7月30日、東根市議場で開かれた。平成23年度会計決算、補正予算及び条例の一部を改正する条例の制定、議員発議についてそれぞれ認定・可決された。会計決算は歳入23億4千372万円、前年比22.5%、歳出はし尿処理工事費等34%増の22億5千676万円となった。

広域斎場 事務組合

8月29日に定例会が開かれ23年度決算と24年度補正予算を審議し可決された。決算の収入済額は9千355万7千円、支出済額は9千142万5千円。213万円を繰越した。補正予算は213万円を計上し、火葬炉内のセラミックス等の交換、駐車場グレーチング舗装などに充てるものである。

北村山公立 病院組合

7月31日第2回定例会が開催され、平成23年度事業決算の認定、医療紛争に係る損害賠償請求事案の和解、平成24年度第1回補正予算について審議し、原案のとおり可決した。経常収益は、53億2千51万5千円、経常費用は、53億7千12万3千円、4千960万8千円の経常損失の決算となった。

北村山広域 行政事務組合

9月27日、第2回定例会は村山市議場において開催された。付議された平成23年度の決算については認定し、また、五十嵐悌二教育委員が今年3月31日を以って辞任されたので後任に布川元氏（大石田）を任命することに同意した。なお、補正予算は歳入歳出とも増減のない組替え。

市民の声



村山アスレチッククラブ代表
高橋 衛さん(戸沢)

村山アスレチッククラブは、村山市民はもとより近隣市町村の方も多く集まる総合型地域スポーツクラブです。

当クラブは、平成14年に設立し、今年3月で10年を迎えました。



練習会風景 (高学年)

た。毎年、幼児から大人まで約100名の会員と約100名の非会員が陸上競技を中心としたアスリート育成コースやサークル活動・イベントに参加しています。

アスリート育成コースでは、大学等で専門知識を学ぶコース陣が技術や戦術・メンタル・アフターケアまで一環した指導を行い、会員から全国大会や東北大会などで活躍する人が数多く出ています。また、小学生の中には山形県のスポーツタレント



練習会風景 (幼児から低学年)

発掘事業のドリームキッズに3名が選出され、両立して活動しています。

サークル活動やイベントは、会員相互の親睦を図るべく多岐にわたり活動を進め、心地よい汗を流しています。

村山アスレチッククラブは、これからも色々な形で皆様にスポーツを提供していきます。自分の目的に合わせた活動が出来ますので、ぜひ参加して頂きたいと思います。



イベント (学協会 2012年9月)

ぎがいわおツェンヴ

〈議会の権限〉 → 財産の処分

議会の権限の一つに財産の処分があります。

土地など、村山市の財産を処分する場合、次に該当するときは、議会の議決を得なければなりません。

- ① 土地などの不動産 1件2,000万円以上(土地については、1件5,000㎡以上の場合に限ります。)の財産を処分する場合
- ② 今回、楯岡中学校跡地の宅地分譲を行うにあたり、これに該当しますので、9月議会に提案され、議決されたものです。

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
長谷川	布川	長南	川田	秋葉	井澤	須藤
元	淳一	誠	律子	新一	秋雄	和幸

議会だより編集委員会

今回は、決算特別委員会の主な指摘も掲載いたしました。
市民のみなさんが読みやすくわかり易いように工夫してまいります。ご意見をお聞かせください。

あとがき

行ってみよう

議会の傍聴

○12月定例会では、会派代表質問と一般質問が行われます。

*議会事務局に日程を確認のうえ、お気軽においでください。

議会報告会の開催

今回は、次の会場で行います。
どうぞ皆さんお気軽においでください。

1. 日時・場所

■ 10月24日(水)

午後7:00 袖崎地区市民センター
午後7:00 大高根地区市民センター

■ 10月25日(木)

午後7:00 土海在家公民館(戸沢)
午後7:00 大倉地区市民センター

*今年から、各地域ごとに、年2回開催しております。